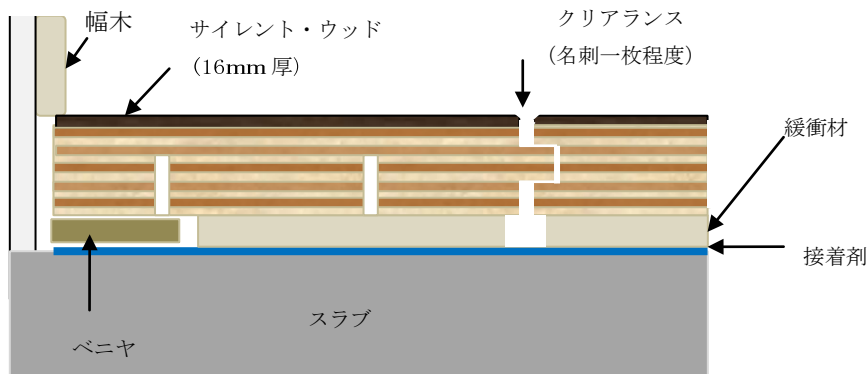




フローリングの張り始め・終わりは、必ず
5～10mmのクリアランスを確保し、幅
木で隠して下さい。 **ソフト巾木NG**

はじめに

本商品は無垢フローリングのテイストでありながら、遮音性能を有する非常に特殊なタイプの遮音フローリングです。

他社メーカーの表面特殊シート遮音フロアとは全く異なる性質の商品で、無垢フローリングと同等の取扱い施工が求められます。下記の施工方法をご採用前、施工前に必ずご一読頂き施工を行ってください。尚、本商品は遮音性能をクリアする為に、商品の裏側にフェルト（緩衝材）が一体構造となっています。釘を使わず施工をするため、施工中施工後、生活に支障をきたさない程度のカマボコ・船底状の反りや、歩行時の沈み込みによる「ピキッ」といった乾いた床鳴り音が必ず生じます。予めご了承ください。

※「バリバリ」や「バキバキ」といった激しい床鳴り音は下地の不陸調整不足や、接着剤の塗布の仕方、施工後に誤ってベチャベチャの水拭き、ワックスがけを行ってしまった等、施工上の要因が考えられます。施工店様は十分ご注意ください。

<クレーム規約>

本商品は無垢フローリングと同様に、商品の特性上「反り、膨張、ヤセ、突き上げ、割れ、床鳴り、カビ」等、施工後に起こる可能性のあるそれらの現象につきましては、如何なる場合もメーカーが補償するものではありません。梱包開封後に不良品が見つかった場合は、速やかに弊社までご連絡ください。使用済み前に限り無償交換をさせていただきます。返品の際の郵送費用は弊社で負担させていただきます。

1) 保管・開梱

現場に到着したら段ボールから商品を取り出し、結束は解かず最低 3～4 日間周囲の環境になじませて下さい。この作業を怠ると、特に湿度の高い時期に施工する場合は、施工時に確保したサネ同士のクリアランスが施工中に埋まってしまう恐れもあり、そうすると膨張した際の逃げ場が壁際のクリアランスしかなくなり突き上げのリスクが高まります。

2) 下地材

下地のモルタル、コンクリートは含水率 **10%以下**になるまで充分乾燥し、確認後に施工して下さい。

- 下地の乾燥が不十分な場合、直張り後にフローリングが水分を吸収し、膨張・突き上げ・激しい床鳴りの原因となる場合がございます。
コンクリートが充分に乾燥した状態での施工をお願いします。
- 過去に漏水や水漏れ、結露等の痕跡がないか必ず確認をお願いします。それらのリスクのある現場では本商品はお使い頂けません。
- 季節・環境・施工時点の気候条件により、モルタルやコンクリートの含水率は変化しますのでご注意ください。
- 施工前に、**不陸の調整**を必ず行って頂けますようお願いいたします。凸凹がある状態でフローリングを張り込みますと、施工後の割れ・激しい床鳴りの原因となる場合がございます。

3) 接着剤

- 接着剤：1液型ウレタン系接着剤（化学反応によって固化するタイプで、硬化後の収縮が無く、接着剤が要因となる床鳴りを軽減します。）弊社推奨品 ⇒ **コニシ KU928R / コニシ KU928RS / コニシ E350R 水性エマルジョン系接着剤・木工用白ボンドは絶対にご使用にならないで下さい。**（接着剤に含まれる水分が蒸発して硬化するタイプで、水分をフェルト（緩衝材）が吸収する為、“暴れ・激しい床鳴り”の原因となります。）

- 下地のコンクリートに接着剤メーカーで用意された専用櫛を使い、必ず接着剤メーカーが推奨する塗布量をコンクリート全面に塗布してから張り込んでください。塗布量が少ない、または点付け波付けなど塗布の仕方が異なると、施工後にフローリング表面の激しい反りや激しい床鳴りを誘発します。
- サネの中に接着剤が入らぬように気をつけて施工してください。サネの中に接着剤が入ると激しい床鳴りを起こします。
- 張りこみの際、接着剤がフローリング裏側のフェルト（緩衝材）の内部に付着しないよう注意をお願いします。緩衝材が固まってしまう、その部分だけが沈み込んだままとなってしまう、段差が生じたり激しい床鳴りの原因にもなりますので、お気を付けください。
- 張りこみは必ず接着剤メーカーが提唱するアウトタイム以内にフローリング全面にウエイトをかけ、接着剤がコンクリートと緩衝材の裏側に均等に圧着されるよう施工してください。ウエイトをかけない場合、また接着剤のアウトタイムが過ぎてしまった場合は、フローリングがコンクリートに乗っているだけの状態となり、施工後のフローリング表面の激しい反りや激しい床鳴りを誘発します。
- 施工時に、靴の裏に付く接着剤、施工者様の手についた接着剤には充分ご注意ください。

4) 施工現場の湿度管理

- 本商品は湿度の高い環境下での施工はおすすめしていません。夏場（梅雨時期）で湿度が高い環境下で施工を行う際は、室内を除湿するなど湿度管理を行ってください。またクロス工事や漆喰工事を行う場合も施工場所の湿度が急激に高くなる為、ご注意ください。
- 本商品は開封時、施工に支障を来さない反りが認められます。この点は商品の特性上避けたい点につき、商品を抑え込みながらの施工をお願いいたします。適正な施工を行えば、入居後における反り等に影響を与えるものではございません。接着剤のアウトタイム以内にウエイトをかけるなどして平らに圧着をお願いします。

5) 壁とフローリングのスペース

- フローリングのサネは強く叩きこまず、名刺1～2枚程度のクリアランス/隙間（0.2～0.4mm）を必ず設けて施工して下さい。このクリアランスが十分に確保されないと、突き上げや激しい床鳴りの原因となりますのでご注意ください。
特に夏場を迎える前の季節や夏場の施工の際は、施工場所の湿度等を十分ご考慮頂きクリアランスを確保願います。
- 壁・柱の際は、必ず5～10mm程度のクリアランスを設け幅木で隠して下さい。ソフト巾木はNGです。このクリアランスが十分でない、と、突き上げや激しい床鳴りを誘発します。
- 壁際部分はフローリングの緩衝材を剥がし、同梱のベニヤをカットしてスラブとフローリングの間に敷いてご使用くださいこの作業を省略すると、壁際部分を踏んだ際に激しい床鳴り音が生じます。

6) 養生

- 自然オイル塗装は木目にボード等の粉が刺さると除去が困難になります。色の濃い塗装は特にお気をつけください。
施工後の養生シートは、通気性の良いものをご使用下さい。通気性に劣る養生シートをお使いになりますと、下地からの湿気が逃げる場所を失います。特に夏場はシートの中がサウナ状態になり、「膨張・突き上げ」の可能性が高くなります。またマスキングテープは壁側でとめ直接床に貼らないでください。直接貼ると自然オイルに色の変化が起こります。

6) 美装時の注意

- 本商品は水に弱い特性があります。美装時モップ等でのベチャベチャの水拭きは絶対に行わないでください。水拭きを行う際は硬く絞った雑巾を使い、その後、必ず乾拭きを行ってください。
本商品の自然オイル仕上げ塗装品はオイルにワックス成分を含んでいるため、施工後の美装時にワックスがけは不要です。もし、どうしてもワックスがけを行う場合は、弊社で販売している純正のメンテナンス用品をお使いください。その他のワックスを使用すると白化現象や艶が上がるなど、様々な不具合が生じる場合がございます。また、水性ワックスは激しい床鳴りや、反り、突き上げを誘発する為、絶対に使用しないでください。

※ ウレタン塗装のチーク商品に関しましては、弊社までお問い合わせください。

SeeGeL